



団体概要

団体名	一般社団法人 大阪青年会議所
創立年月日	1950(昭和25)年3月25日
社団法人格取得年月日	1955(昭和30)年1月17日
一般社団法人移行年月日	2014(平成26)年1月6日
事務局所在地	〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30 オーク4番街401号室
連絡先	TEL:06-6575-5161 FAX:06-6575-5163
正会員数	1,050名(2017年12月31日現在)
OB 会員数	2,851名(2017年12月31日現在)
事業年度	1月1日～12月31日
URL	http://www.osaka-jc.or.jp



POLICY BOOK 2018

一般社団法人 大阪青年会議所

BREAK THROUGH OSAKA

BREAK THROUGH OSAKA

～ 270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ ～

いま、大阪が再び熱狂しようとしています。

2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催控え、教育再生、経済再生を中心とする「未来投資戦略」の成果によって、日本再生に一筋の光が見えています。

大阪においても、インバウンドの増加、国家戦略特区の活用、幼児教育の無償化などにより、経済は成長し、人口も増加傾向にあり、子どもたちの学力も伸びています。2019年にはラグビーワールドカップ、2021年にはワールドマスターズゲームズの開催、2025年の日本万国博覧会の開催誘致が実現すれば、大阪の未来は明るく照らされることになります。

かつて、人口、面積、経済において国内最大の都市となり「大大阪」と呼ばれ、日本だけでなく世界を熱狂させた大阪。

私たちは大阪に住み暮らす270万人を熱狂させ、民間主導の経済成長で日本再生を牽引するアジアの中核都市となり、誰もが生きる力をもって生涯を通して活躍し、次なる革新で人類に真の進歩と調和をもたらす「BREAK THROUGH OSAKA」を実現してまいります。

大阪青年会議所は1950年（昭和25年）、戦後荒廃の中、「『青年』それはあらゆる価値の根源である」との志の下、国家の再建と世界平和の実現に向けて日本で2番目に設立された青年会議所です。

2018年度も約1,000名の現役会員と、2,800名を超える名誉会員、特別会員が一丸となり、青年らしい突き抜けた政策と大胆な行動力をもって大阪のまちのために行動してまいります。

結びに、多くの市民の皆様、行政、企業、各種団体の皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

たった一人の熱狂からすべてがはじまる
大阪を次のステージへ

一般社団法人大阪青年会議所(JCI大阪) 理事長

竹田 哲之助



日本再生を牽引する 民間主導の 経済成長の実現

成長戦略の成果により一筋の光が見えている現在、
デフレーションから完全に脱却し、
アジアの中核都市として存在感を発揮する好機を迎えています。
この絶好の機会を活かし、正しい知識にもとづいた市民輿論を確立し、
誰もが豊かさを享受できる経済を実現します。



民間主導の経済成長の実現

日本は約20年の間、デフレーションが続いています。その中で、東西二極の一極としてデフレーションを脱却し、市民の所得を上げ、経済成長に必要な官民一体の成長戦略を提言していきます。



正しい知識にもとづいた 市民輿論の確立

日本万国博覧会の誘致活動や、大阪府と市の合併の是非を問う住民投票などの機会を活かし、市民の意識と政治や経済の正しい知識を向上させ、市民輿論を確立していきます。

子どもの生きる力を育む 生涯活躍社会の実現

新技術の発達で社会が変化し、
多くの子どもや若者が将来に不安を感じている現在、
すべての大人が生涯に渡り成長を続け活躍し、
圧倒的な期待感を与えなければなりません。
だからこそ、逞しい身体と素直な心を兼ね備えた、
生きる力をもった子どもを育む環境を構築し、
誰もが生涯を通じて成長し活躍できる社会を実現します。



生涯活躍できる逞しい身体づくり

社会保障費が国家予算の3割を占めている現在、子どもたちへの投資が拡大できていない状況です。生涯に渡り健康を保ち、医療費などが軽減できれば未来への投資に繋がります。大人と子どもが共に育める環境を構築していきます。



素直な心を育む教育再生

現在、子どもの学力は伸びてきています。しかし、今の教育環境は偏差値教育の台頭により自信が持てず素直な心を育む事ができていません。自己肯定感を育むためには、正しい教育の在り方を提言し、素直な心を育む環境を構築していきます。

人類に真の進歩と 調和をもたらす 突き抜けた人材の育成

行き過ぎたグローバリズムにより様々な問題が生じ、
すべての人びとが幸福を追求することが困難になっています。
今こそ、自国の歴史や文化に誇りを抱き、既知と既知の融合から次なる革新を生み出し、
人類に真の進歩と調和をもたらす突き抜けた人材を育成し、
誰もが幸福を追求できる世界を実現します。



次なる革新を生み出す 未来志向な人材の育成

誰もが幸福を追求できる世界の実現をめざし、日本人の素直な心で様々な価値観を受け入れ、既知と既知の融合から次なる革新を生み出す人材を育成していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



多様な価値観を融合する 相互理解の確立

未来を共に創造していく人びとの様々な価値観を受け入れることで、歴史と技術、知識と経験が融合し、人類を進歩させ世界に調和をもたらす、相互理解を確立していきます。



田坂 広志 氏

多摩大学大学院教授
田坂塾 塾長
大阪変革塾塾頭

※大阪変革塾は、大阪青年会議所が主催する
次なる革新を生み出す人材育成を目的とした
事業です。

2018年、大阪青年会議所が掲げる人材像、
「突き抜けた人材」とは、目の前の現実の変革をめざす志と
使命感を抱くとともに、その変革に必要な、
思想、ビジョン、志、戦略、戦術、技術、人間力という
「7つの知性」を垂直統合して身につけた人材です。
大阪変革塾は、その「突き抜けた人材」への
自己変革をめざす場です。



橋爪 紳也 氏

一般社団法人大阪青年会議所アドバイザー
大阪府立大学研究推進機構教授
大阪府立大学観光産業戦略研究所所長
大阪府特別顧問
大阪市特別顧問

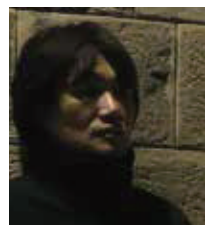
2018年は明治維新150年、
大阪府の創設から数えて150年の節目にあたります。
私たちは時代を変革した先人たちの想いを継承しつつ、
「大大阪」の再創造に向けて、
より豊かな未来を切り拓かなければなりません。
ひとりひとりが気概と誇りをもって、
1点を突破し、力をあわせて全面展開を果たしましょう。



藤井 聡 氏

一般社団法人大阪青年会議所アドバイザー
京都大学大学院工学研究科教授
京都大学地域連携教育研究
推進ユニット教授
第2次安倍内閣・内閣官房参与

医療で一番重要なのは診断。
同様に大阪再生に一番必要なのも診断。
その視点に立てば、大阪衰退の原因は
圧倒的な「インフラ不足」と
政府による激しい「緊縮」なのは明白。
だからこそ街とインフラを大胆かつ効果的に構想し、
積極投資を果たせば、大阪は確実に甦る。



大川 幸秀 氏

アートディレクター・デザイナー
有限会社 Graphic Machine Explosion
『パッタを倒しにアフリカへ(光文社新書)』
カバーデザイン制作
「BREAK THROUGH OSAKA」
ロゴデザイン制作

東京では、オリンピック一色になっており、大阪もますます元気
になってもらえるようにポップなマークにしました。

みなさん自身が楽しめば、周りも巻き込んで、ますます大阪が輝
くと思うので、『BREAK THROUGH』にちなみイベントやいろ
いろな表現なども突き抜けた面白いことをやって頂けたら、と
期待しています。

■ 民間主導の経済成長について

大阪はもともと「官のまち」ではなく「民のまち」です。

民間の活力をどんどん生かすことができる環境を官民一体となり整えていくことで、
「民のまち」大阪が日本の経済成長を牽引してまいりましょう。

■ 生涯活躍社会の実現について

日本、大阪の将来を活性化していくために必要なこと、
それは経済的な視点から見ても、子どもたちが生き抜く力を
身につけることが何より大事だと考えます。教育の方向性を
考えると共に、まずは私たち大人が見本となってまいりましょう。

■ 突き抜けた人材の育成について

新しいことにチャレンジする精神が大阪には根付いています。
この精神はまさに大阪の文化、強み、誇れる文化だと考えます。
それらを最大限に活かしイノベーションを起こす人材を
生み出す仕組みをつくっていきましょう。

大阪、関西のさらなる成長のためには、若い力、発想、
想像力、決断、実行力が必要です。私と同世代でもある
JCの皆さんのような若い世代が、リスクをとってでも
挑戦することが大阪の成長に必ずつながります。
ノーチャレンジ！ノーチャンス！皆さんと共に
大阪を成長させていきたいと思いますので、
一緒に頑張ってまいりましょう。

大阪市長 吉村 洋文 氏

